



年長組だより



「明日も続きがしたい！」

最近の子どもたちは、ケーキ屋さんやたこ焼き屋さん、ドーナツ屋さんなどのお店屋さんをしたり、電車の車掌さんやおはなしやさんなど好きなことをしたりして遊んでいます。また遊戯室にみんなで中型積み木をたくさん運び、使い始めました。それぞれの遊びで“こんなこと（こんな場所に）したいな”“こんなのもあるといいかも”と意気込みを持って遊ぶようになってきた子どもたち。その思いを教師にたくさん伝えてくれるようになりました。そんな思いが形になるうれしさを味わえるように、「こういうことかな?」「これを使って作ってみる?」などと教師がアイデアを出すと、「そうそう、それぞれ!」「そういうの! そういうの!」と、とびっきりの笑顔を見せてくれます。そんな表情を見ると、“自分のイメージに合った物や遊びができるうれしさを感じているんだなあ”とこっちもうれしくなります。楽しく遊んだ後は、「ねえねえ、明日もまた続きしよう!」「うん、いいね」「先生、ここ取っておいてもいい?」と一緒に遊んだ友達と話をしています。

そんな“ああ、楽しかった”“もっとしたいな”“明日はこんな風にしようよ”と感じられる遊びをたくさんしていきたいと思っています。



「せーので水を流したらいいんだよ！」

砂場で大きなスコップを使って遊ぶことが大好きな子どもたち。暑くなってきて「川を作ろう」と水を使って遊ぶことが増えました。水が流れることや、友達の川とつながって大きな流れになることを楽しむようになってきたので、といとピールケースを用意してみました。「流しそうめんみたい!」「長くつなげようよ」と、といをつなげてみたりピールケースを重ねて高さを出してみたりして楽しんでいます。ある日、砂場用の小さな船がといに浮かべられることに気づき、なんとか流そうといろいろと試していました。バケツ一杯だけでは流れが弱く、流れないため「水が足りないんだよね」とつぶやいた子がいました。「じゃあ一緒に流そうよ!」「『せーの』で水を流したらいいんだよ!」とみんなで息を合わせて流すと、思った通りに船が動いてみんなで飛び跳ねて大喜びでした。地面の傾斜やといの重なり方など、いろいろと工夫する部分があるため、毎日繰り返し試して楽しんでいます。これから暑い日が増えていきます。水に触れて、日陰で涼みながら水の流れる様子のおもしろさや不思議さを感じられるようにしていきたいと思っています。

